

**マイクロソフトと日立製作所、「Microsoft® Operations Manager 2005」と
統合システム運用管理ソフトウェア「JP1」の連携の共同検証および
ソリューションの提供で合意**

～ Windows®プラットフォームの運用管理効率を向上 ～

マイクロソフト株式会社(代表執行役 社長:マイケル ローディング、以下:マイクロソフト)と、株式会社 日立製作所 情報・通信グループ(グループ長&CEO:古川 一夫、以下、日立)は、マイクロソフトが現在開発中の Windows プラットフォーム上のシステム管理ソフトウェア「Microsoft Operations Manager 2005」の技術評価の共同実施、及び、日立の統合システム運用管理ソフトウェア「JP1」との連携ソリューションを提供することで合意しました。

近年、基幹業務システムをはじめとしたミッションクリティカルなシステム環境においてはWindows プラットフォームの採用が加速しており、Windows プラットフォームと既存の UNIX システム、Linux 等を含めたオープンプラットフォーム環境における統合的なシステム管理ソリューションに対する要望が高まりつつあります。本連携ソリューションはこのような要望に応えるエンタープライズシステム向けの技術であり、マイクロソフトでは拡張性にすぐれたアプリケーションの構築、展開、運用を簡素化し、自動化することを目的とした DSI (Dynamic Systems Initiative)、日立ではビジネス環境の変化に即応できる柔軟かつ高信頼な IT 環境を実現し、ユーザがコアビジネスに集中できる環境を提供する、サービスプラットフォームコンセプト Harmonious Computing の実現に向けた取り組みの一環と位置付けています。

今回両社は、「Microsoft Operations Manager 2005」と「JP1」において、サーバーシステムの監視と運用管理情報を連携させるソリューションを提供することで、「Microsoft Operations Manager」が監視、管理を行う Windows システムに関する管理情報と、「JP1」が運用管理を行うマルチプラットフォームでのハードウェア、ミドルウェア、アプリケーションに関する管理情報の双方を連携したシステム運用管理を実現していきます。これにより、Windows プラットフォームも含めたオープンプラットフォーム環境での統合的かつ管理対象をより広げたシステム運用管理が可能となります。

今回の具体的な合意内容は以下の通りです。

1. 「Microsoft Operations Manager 2005」の早期評価と技術検証

両社は本連携ソリューションの提供に先立ち、マイクロソフトが開発を進めている Microsoft Operations Manager 2005 の早期技術評価を共同で実施し、監視対象ソフトウェアとの連携機能開発に向けた技術情報交換、検証を実施します。

2. 「Microsoft Operations Manager 2005」と「JP1」の連携ソリューションの提供

両社は、評価と検証結果に基づき「Microsoft Operations Manager 2005」と「JP1」を接続するためのソリューションを提供します。これにより、「Microsoft Operations Manager 2005」と「JP1」の間で、システム警告情報やサーバーシステムの監視、動作状況等のシステム運用管理情報の相互連携が可能となり、「Microsoft Operations Manager 2005」で取得した Windows プラットフォームのシステム情報を「JP1」から統合的に監視するなどの運用が可能となります。

3.マーケティングの実施

マイクロソフトと日立は本連携ソリューションを実用化し、ミッションクリティカルな分野でのWindows Server 2003関連ビジネスの加速化に向け、セミナーを共同で実施するなどのマーケティングへの取り組みを進めていきます。

■「Microsoft Operations Manager」について

Microsoft Operations Manager は Windows Server オペレーティング システムや Active Directory サービスなどの Windows Server に含まれる各種コンポーネント サービス、および Exchange Server や SQL Server 等、Windows Server System の運用管理を実施するためのエンタープライズシステム向け管理ソリューションです。マイクロソフトは現在、Microsoft Operations Manager 2005の開発を行っています。

■統合システム運用管理「JP1」について

「JP1」は、お客様がシステムの規模や複雑さを意識することなく、ビジネスの変化に容易に対応して安心してコア業務に集中できる環境を提供する、日立のサービスプラットフォームコンセプト Harmonious Computing に基づいた製品です。Windows、UNIX、Linux などのオープンプラットフォーム環境における統合システム運用管理ソフトウェアとして、ポリシーベース自律運用に向け、ビジネスを止めない高稼働・高信頼性、安全なサービスの管理、効率の高いサービス管理による運用管理コスト削減を実現します。管理機能として「統合」「ジョブ」「アベイラビリティ」「ネットワーク」「セキュリティ」「資産・配布」「ストレージ」の7つの分野をサポートしており、幅広いシステム運用管理が可能です。

「JP1」ホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/jp1>

■本件の JP1 に関する問合せ先

株式会社 日立製作所 情報・通信グループ
ソフトウェア事業部 企画本部 計画部【担当:黒須・齋藤】
〒244-8555 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町5030番地
電話:045 - 862 - 8724(ダイヤルイン)

以上

このニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。
発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。
